

# かわしま 川島まさひろNEWS ニュース



発行  
2012年夏号  
第6号

●発行所：公明党川崎市議会議員団  
●印刷所：株式会社光明印刷 川崎市幸区塚越4-345  
●発行人：川島まさひろ  
川崎市中原区井田3-17-20-405  
TEL : 044-799-1021  
FAX : 044-863-4117



平成24年第2回川崎市議会定例会で川島議員は、6月25日3項目について質問。  
①脳卒中について ②電子申請システムについて ③インターネット環境について

## 「命を守る」脳卒中教育導入を!!

脳卒中は、全国で死因の第4位。本市で脳卒中治療に取り組む医師や後遺症に苦しむ方からの要望を受け、脳卒中教育導入を訴えました。

## 脳卒中は寝たきり介護の最大要因!

介護で寝たきりになる最大の要因は脳卒中です。脳卒中の中でも約7割を占めるのが脳梗塞。その治療において、発症後3時間以内に治療を開始すれば非常に効果の高いt-PA治療が近年保険適用化されています。

本市では民間団体の「川崎脳卒中ネットワーク」が市と連携し、脳梗塞発症者をt-PA治療可能な医療機関(市内11施設)にバイパス搬送する取り組みを進めています。救急車が到着してから病院に到着するまでの時間を短縮するこの取り組みは、他都市と比較しても先進的な取り組みといえます。

## 発症から治療までの時間が勝負!!

脳梗塞を発症してから治療するまでには、検査にかかる時間を考えると、発症後2時間までに病院に搬送しなければなりません。そのためには、発症を素早く判断し、ためらわず治療を受けるための知識を持つことが重要です。それには、医師や救急隊員だけでなく、脳梗塞の症状に対する市民の理解が不可欠です。

脳梗塞を発症した方の家族や友人、通行人など、そばにいる人が、異常に気づいて救急車を呼び、病院に送る手助けができれば、多くの方を救えることになります。

## ためらわない! 症状への判断と対応がカギ!

川島議員は、本市では、脳卒中を発症した方を搬送するハード面における先進的な取り組みに比べ、ソフト面での市民啓発が不十分であることを指摘しました。特に、海外では既に、小学校で脳卒中教育が導入され効果が出ている事も踏まえ、本市でも学校教育に脳卒中教育を導入することを要望しました。

脳卒中を発症したときに、周囲にいるのは、大人だけとは限らないとし、脳卒中の症状に対する判断・対応を学ぶ事は、自分の命だけでなく他者の命を守る事にもつながる、非常に大切な取り組みであると訴えました。

教育長は、各学校での保健学習の授業の中でも症状や対処方法について生徒が触れていく事ができるよう、体育科、保健体育科教諭や養護教諭に情報提供していく考えを示しました。

子どもへの教育は、子どもを通して、両親や祖父母等へも波及します。多くの方の命を守り、後遺症に苦しむ方を一人でも少なくするために、脳卒中教育の導入に向け取り組んでいきます。

## 脳卒中の症状は突然起きます!

下記の症状は脳卒中の疑いあり! 直ぐに受診を!

### 麻痺やしびれ

体の片側のみに麻痺やしびれがある。



### めまい

まっすぐ歩けない、バランスが悪くなる。

### 言葉の障害

言葉がうまく出ない、理解不能。ろれつが回らない。

### 視野が欠ける

左右どちらの目で見ても、視野が半分ほどしかない。または、物が二重に見える

### 頭痛

これまでに経験したことのないほど激しい頭痛が起こる。

## 脳卒中 顔・腕・言葉ですぐ受診

下記の3点をチェックして1つでも該当すれば、ためらわず救急車を呼んでください。

### ①顔

「イー」と言おうとした時、口の片側しか上がらない。

### ②腕

両手の平を上向きにして、肘から先を上げるか、「前にならえ」姿勢をとる。目をつぶって5秒間待つと麻痺のある側が下がり、片麻痺があることが分かる。

### ③言葉

会話してろれつが回らない、意味不明の会話、言葉が出ない症状を見つける。

## 川島まさひろの 視点 VOL.6 エネルギー対策を具体的に推進! 原発依存社会から、原発に依存しない社会への転換は喫緊の課題。

▶7月9日、蓄電技術でエネルギー問題に挑戦する「エリーパワー株式会社」(吉田博一・代表取締役社長)の第2工場を視察しました。

▶同工場は6月に完成され、自動化された製造ラインでは、年間100万個のリチウムイオン電池が生産できます。

▶今後、再生可能エネルギーが普及してもピークカット等エネルギーを無駄なく使うという発想が大切になってきます。蓄電池の普及は、まさに今後のエネルギー問題に大きく貢献できると思います。

▶家庭等への普及を一層進めるために、川崎市でも補助制度を設けるなど具体的にエネルギー対策を進めるよう、実現に向け取り組みます。



▲エリーパワー株式会社の蓄電池生産工場を視察

## 川島まさひろのホームページへアクセス!

(市民相談などお気軽に)  
声をかけてください。

議会 電話: 044-200-3361  
FAX: 044-245-4137

自宅 電話: 044-799-1021  
FAX: 044-863-4117 | E-mail:  
kawashima@komei-kawasaki.com

